

乙金第二土地区画整理事業竣功式

7月7日(金)、乙金中央公園で乙金第二土地区画整理事業の竣功式が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、公園内では神事と、竣功記念碑・モニュメントの除幕式が行われました。

平成19年3月から始まり、約10年の年月を経て、今日に至りました。事業地内を通る現人橋乙金線(あらひとばしおとがなせん)沿線には、大規模店舗などの商業施設や福祉・医療施設、その周辺には新たな住宅が建ち並び、事業地内だけでなく、周辺地域からも多くの人が集まる、新たなまちとして今後、発展が期待されます。



どこでも観光案内所 まどかぴあに設置中!

(一社)大野城市にぎわいづくり協議会では、6月1日から「どこでも観光案内所ワゴン」をまどかぴあのギャラリーモール(1階総合案内所前)に設置しています。

ワゴンでは、市内の“にぎわい”に関するチラシやパンフレットをたくさん置いています。今後も、市内のお祭りやイベントなどに出張する予定です。見かけたらぜひ立ち寄って、大野城市のいろんな魅力を発見してください。

※(一社)大野城市にぎわいづくり協議会とは、市のにぎわいづくりを目的に昨年設立された団体です。一緒に“にぎわい”を作っていく会員を募集しています。



熱戦を展開 第40回大野城市民相撲大会

7月2日(日)、40回目となる市民相撲大会がまどかパーク相撲場で行われました。

この日は、天気にも恵まれ風が吹き抜けるなか、土俵は熱気に包まれ、市内の各小学校から参加した122人の選手により熱戦が繰り広げられました。

小学4年生個人の部で優勝した、大野北小学校の南野帆乃夏さんは、「柔道を習っている。決勝戦は強い選手とあたって、思いつきりいった。優勝できて嬉しい。」と話してくれました。

■団体の部 ◇優勝 大野◇準優勝 大野北◇3位 御笠の森 ■個人の部 優勝◇4年生 南野帆乃夏(大野北)◇5年生 友永 剛(大野北)◇6年生 大富輝登(月の浦) (敬称略)



大文字

子どもたちの季節は夏休みの真っ盛り。一方大人は夏バテで、エアコンの効いた部屋で過ごしがち。せつかくの休みも世代間が断裂きみで、夏休みを短縮し、その分で別の時季に連休を設定してはと提案が出るほど。

そんな盛夏には、御笠川のすこやかウォーキングコースがおすすすめ。朝夕の涼しい時間に誰かと川沿いを歩いてみませんか? 大文字公園を中心に、鯉や亀、鷺や鴨も姿を現すせせらぎは、都会の中にも自然が満載。

時折見かける土手の親子連れやお孫さんとの散歩姿に、ある随筆を思い出しました。作者が子どものころ大好きなおじさんに、梅花のにおいがかがせてもらった経験。自分も今、幼い子に同じことをしたら、この子が成長したときに梅を見て、いつか忘れていた香りとともに、楽しいふれあいを思い出してくれるだろうか? という内容。

故郷の川沿いの世代間交流が、将来大野城から遠く離れて住んでいても、蝉の声を聞くとふと思い出す、夏の記憶のタイムカプセルになったらいですね。(岩)